

関係各位

印刷インキ工業連合会

グラビアインキを取り巻く現況について

3月22日、関係業界の方々に配布いたしました「印刷インキの危機的状況について」の文書及びご説明後の変化を踏まえて、グラビアインキの生産出荷に関する進捗状況について報告させていただきます。

当連合会会員企業においては各種インキ製品の供給を最優先として資材調達から出荷製品の絞り込みを徹底し、生産しているところであります。そして、危機的な状況を打開するために、会員各社では「震災により調達困難となった一部原料を代替し、インキを新たに処方設計して生産、供給する」ことに重点を置き、安定供給に鋭意取り組んでおります。

グラビアインキにつきましては、懸念されておりました顔料等の一部で改善の兆しが見えつつありますが、依然として調達困難な原材料があり、生産出荷の調整や代替品への切り替えをお願いしているところです。とくに、主要原料の一つメチルエチルケトン(MEK)は被災企業の生産再開の目処が立っておらず、絶対量の不足は今後も継続される見通しであります。また、多岐にわたる使用原料の多くは代替品に切り替えて対応しており「非常事態」は脱した感はありますが、今後新たに調達困難となる原材料が発生することは否定できません。なお、夏期電力制限の実施への対処については鋭意検討中です。

以上、ここではグラビアインキを取り巻く現況のご報告としましたが、当連合会会員各社で現状への対応に差異がありますので、取引先と個別にご相談いただきますようお願い申し上げます。

以上